

追加関連論文

(L-アスコルビン酸カルシウム)

1 平成 16 年国民健康・栄養調査結果の概要について。厚生労働省 (2006)

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2006/05/h0508-1.html>

・・・ P 1

栄養素等摂取量（一日当たり平均）について、性・年齢階級別に調査した結果が表 3 - 1 ~ 表 3 - 3 に示されている。

2 日本人の食事摂取基準。厚生労働省策定。(2005) 第一出版

・・・ P 4

健康な個人または集団を対象として、エネルギー及び各栄養素の摂取量の基準を示したものである。

上限量について、ビタミン C については現時点で定められておらず、カルシウムについては上限量 2.3 g/日（男女、全年齢階級共通）とされている。

3 平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金（食品の安全性高度化推進事業）「国際的動向を踏まえた食品添加物の規格の向上に関する調査研究」主任研究者：四方田千佳子、分担研究「わが国における食品添加物生産量統計とその国際比較」、生産量統計を基にした食品添加物の摂取量の推定 その 1 指定添加物品目。

・・・ P 18

純食品向け出荷量から、食品添加物毎に一人当たりの一日摂取量を推定したものの。カルシウムを含む食品添加物からのカルシウム一日摂取量について 68.11 mg/ヒト/日としている。

4 Fukushima S, Ogiso T, Kurata Y, Shibata M, Kakizoe T. Absence of promotion potential for calcium L-ascorbate, L-ascorbic dipalmitate, L-ascorbic stearate and erythorbic acid on rat urinary bladder carcinogenesis. *Cancer Letters*. (1987)35:17-25.

・・・ P 22

L-アスコルビン酸カルシウム、L-アスコルビン酸ジパルミテート、L-アスコルビン酸ステアリン酸エステル、エリソルビン酸のラット膀胱発がんプロモーター作用の欠如の可能性についての論文。

F344 ラットに N-butyl-N-(4-hydroxybutyl)nitrosoamine(BNN)をイニシエーターとして 4 週間飲水投与した後、L-アスコルビン酸カルシウム、L-アスコルビン酸ジパルミテート、L-アスコルビン酸ステアリン酸エステル、エリソルビン酸を 32 週間プロモーターとして混餌投与（各群 5%）する膀胱発がん二段階実験を行った。その結果、各群とも前がん病変、パピローマもしくはがんの誘発は認められなかった。このことから、これらの化学物質に膀胱発がんのプロモーター作用は認められなかった。